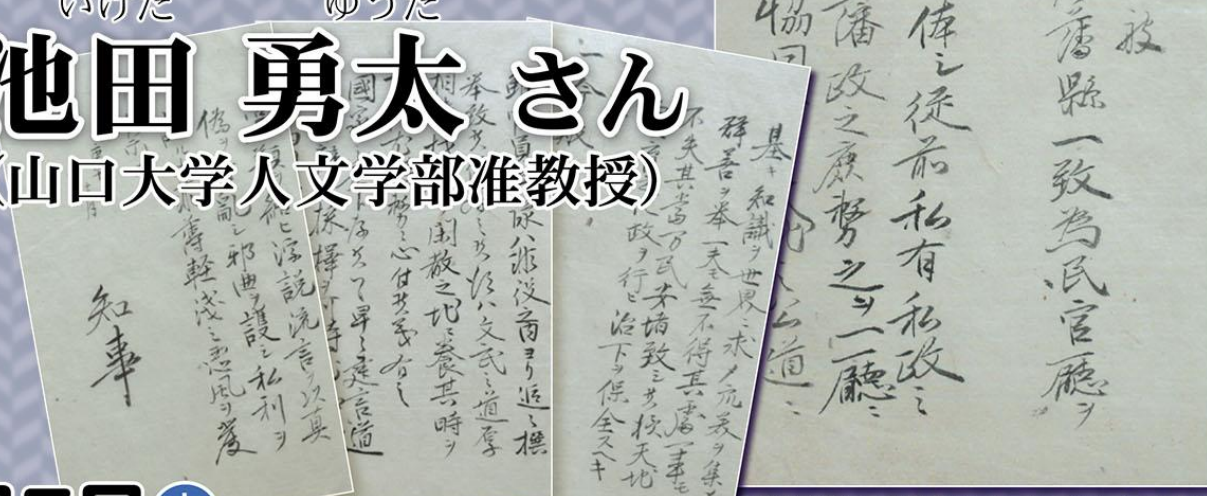


明治維新と 旧体制の廃棄

いけだ ゆうた
講師 池田 勇太 さん
(山口大学人文学部准教授)



11月5日(土)

第1講 13:30~15:00

王政復古と領主制の廃棄

第2講 15:20~16:50

明治初年藩政改革の論点

11月6日(日)

第3講 10:00~11:30

武家支配の崩落現象

第4講 13:00~14:30

廃藩置県と開化論

会場：伊賀良公民館 1階講堂

資料代：500円 ※高校生以下無料

申込み：

①会場での受講(定員50名) ②ご自宅等でのオンライン受講

のどちらかでご参加いただけます。会場は11月2日(水)、オンラインは10月25日(火)までに電話、FAX、メールのいずれかで受講場所と電話番号をお知らせください。

オンライン受講は、郵便番号とご住所もお知らせください。

☆飯田アカデミアは、歴史学における第一線の研究者に、最新の研究成果をわかりやすく紹介していただくものです。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更が生じる場合があります。

藩政改革につき達書(飯田市歴史研究所蔵 宮沢家文書)

明治維新と旧体制の廃棄

講師より

明治維新は近代史上重要な変革といえますが、日本近世の領主制や身分制度が廃棄され新しい政治社会体制が構築されていく経緯やその意義については、研究者間でも統一的な見解が得られていません。

この講義では、江戸時代の政治社会体制が変化する転換点となった慶応3年（1867）の大政奉還・王政復古から明治4年（1871）の廃藩置県前後の時期を取り上げ、旧体制の廃棄について論じます。なぜ大名たちは領主の座から降りてしまったのでしょうか。どのようにして武士たちが支配する体制が終わったのでしょうか。また当事者たちはどのように考えていたのでしょうか。飯田・下伊那の事例もまじえつつ、論じてみたいと思います。

講師プロフィール

池田勇太（いけだゆうた）さん （山口大学人文学部准教授）

1978年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。2009年5月～2012年10月、飯田市歴史研究所研究員。その後、山口大学人文学部講師を経て現職。専攻は日本近代史。著書に『福澤諭吉と大隈重信—洋学書生の幕末維新』（山川出版社、2012年）、『維新変革と儒教的理想主義』（山川出版社、2013年）、『武士の時代はどのようにして終わったのか』（清水書院、2021年）がある。

★飯田アカデミアとは、歴史学における第一線の研究者に、最新の研究をわかりやすく紹介していただくものです。